

事業名：排水機場維持管理事業

治水課 治水係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実							
施策	03 危機管理の強化・充実							
基本事業	01 治水対策の強化							
開始年度	—	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

排水機場

手段（事務事業の内容、やり方）

市内排水機場等の点検整備・点検操作を委託で実施する事により、災害に備えた施設・設備の維持管理を行う。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設・設備を適切に管理し、緊急時に対応できる機能を維持する。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	排水機場数	箇所	18	18	18	19
対象指標2						
活動指標1	維持管理経費	千円	50,342	47,316	51,912	60,940
活動指標2	施設巡回・点検回数	回	9	9	9	9
成果指標1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	50,342	51,547	51,912	60,940
正職員人件費(B)		千円	4,816	4,810	4,688	4,694
総事業費(A+B)		千円	55,158	56,357	56,600	65,634

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	市内排水機場の維持管理 角山、新角山、南美原、八幡、篠津川、中島、野幌、世田ヶ谷、 大麻、上江別、早苗別、神田、登満別、泉の沼、江別太、中樹林、 新中樹林、幌向太	燃料費 730,800円 光熱水費 3,712,598円 修繕費 2,787,378円 委託料 43,536,543円 その他 1,144,998円

事業を取り巻く環境変化
事業開始背景
事業を取り巻く環境変化

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠
	管理協定による施設管理
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠
	市民生活への不安解消
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠
	必要箇所の維持補修を実施してきている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠
	当該事業は現状施設の継続的維持である。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありませんか？	
ある なし	理由 根拠
	これまで経費削減・組織見直し等で削減してきている。